ベースボール通信　第4号

春日部東高校野球部　令和6年11月23日発行

春日部東高校野球部

「挑」

殻を破り、全力で「挑む」

- 令和6年度　東部地区新人大会
- 令和6年度　東部地区予選　及び　県大会兼関東大会予選
- 新任挨拶（新顧問/新会長 より）

ベースボール通信　第４号
保護者会　広報担当　作成・発行

「挑」全力で挑め！

※第47期の選手達が考案した目標・キーワードは「挑」です。
これから約8か月、自らの殻を破り、一人一人が全力で「挑む」姿をご期待下さい。

春日部東　令和6年度　東部地区新人大会　1回戦

8月20日（火）牛島球場　VS　三郷北

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
春日部東	1	0	0	0	7	0	0	1		9
三郷北	2	0	0	0	0	0	0	0		2

新チーム初戦は三郷北。

初回、春日部東が相手のミスとフォアボールをきっかけに先制するも、その裏、公式戦初戦のプレッシャーからか、先発ピッチャーのストライクが入らず、2点を取られ逆転され、初回にピッチャーを交代する展開からのスタートとなった。その後、4回までお互いチャンスらしいチャンスが作れず膠着状態。流れを作ることができずこのまま終わってしまうのか…と思われた5回、打線が目覚め、ヒット６本にフォアボールを絡め7点を奪取。
その後は相手に流れを渡さず、８回にフォアボールと相手のミスで１点を取り、８回７点差コールドゲーム。
４回まではどうなるかと思われた試合だったが、２番手ピッチャーが踏ん張り、打線が奮起した結果、
新チーム初戦を勝利で終えることができた。

春日部東			打数	安打	打点
1	9	丹川	4	1	2
2	6	沖崎	4	1	2
3	4	高橋	4	1	-
4	3	藤井	4	1	1
5	7	見ル野	4	2	1
6	2	岡崎	3	1	1
7	8	村上	3	1	1
8	①	松田	-	-	-
	1	村山	4	1	1
	1	菜原	-	-	-
9	5	関	2	-	-

	回数	安	四	振	責
松田	2/3	2	3	-	2
村山	5-3/3	4	3	4	0
菜原	1-1/3	1	-	1	0

春日部東

令和6年度　東部地区新人大会　2回戦

8月22日（木）庄和球場　VS　久喜工業

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
久喜工業	0	0	0	0	0					0
春日部東	1	7	0	2	╳					10

新チーム初戦を何とか勝利して、この日は2回戦で久喜工業と対戦。

この日は、初戦とはうって変わり、初回から打線が繋がり、５回１０点差コールドゲームで勝利。先発の１年生エースがフォアボール１つ許したものの、ダブルプレーがあり、２回を６人でピシャリ。その後、後輩に後塵を拝している２年生ピッチャー３人がそれぞれ１イニングずつをそれぞれが３人で抑えて、ノーヒットゼロ封。打線も２回にヒット４本フォアボール３つを絡め大量７得点を奪い、相手を圧倒した。

春日部東			打数	安打	打点
1	9	丹川	3	1	1
2	6	沖崎	1		1
3	4	寺本	3		1
4	③	藤井	3	3	4
	PR･4	高橋	-	-	-
5	⑦	見ル野	3	2	1
	7	曽根田	-	-	-
6	②	岡崎	2		
	2	石塚	1	1	2
7	8	村上	2		
8	①	松田			
	1	林	-	-	-
	PH	樋口			
	1	金田	-	-	-
	PH	田上			
	1	板東	-	-	-
9	5	藤丸	3	1	

	回数	安	四	振	責
松田	2	0	1		0
林	1	0			0
金田	1	0		1	0
板東	1	0			0

春日部東

令和6年度　東部地区新人大会 準々決勝

8月23日（金）庄和球場　VS　八潮南

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
春日部東	0	0	0	2	2	0	5			9
八潮南	0	0	0	0	0	0	0			0

東部地区大会準々決勝、対戦相手は八潮南高校。

春日部東の先攻ではじまり３回まではお互い走者は出すものの１年生バッテリーが無得点に抑えた。４回表、失策の走者を４番藤井、５番見ル野の連続タイムリーで２点先制。続く５回には２番沖崎、４番藤井のタイムリー二塁打で２点を追加。６、７回は林が登板、荒れ球で４四球を与えるも４三振を奪う投球。７回には相手のミスに乗じて一挙５点を挙げ９－０のコールド勝ちをおさめた。

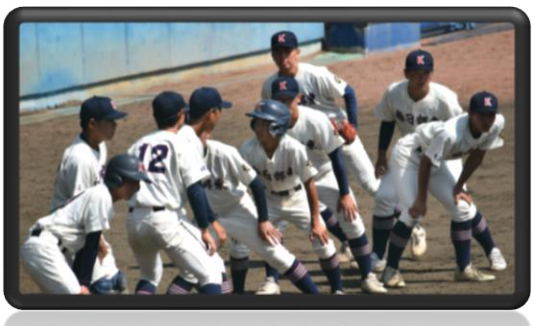
春日部東			打数	安打	打点
1	9	丹川	4	3	
2	6	沖崎	4	1	2
3	④	高橋	3	1	
	4	齋藤	-	-	-
4	3	藤井	4	3	4
5	7	見ル野	4	1	1
6	2	岡崎	3	1	
7	8	村上	4	1	1
8	①	松田	2		
	PH	寺本	1		
	1	林			1
9	5	関	4	1	

	回数	安	四	振	責
松田	5	6	1	4	0
林	2	0	3	4	0

令和6年度　東部地区新人大会　準決勝

8月25日（日）越谷市民球場　VS　春日部共栄

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
春日部東	1	0	0	1	0	1	0			3
春日部共栄	3	5	0	0	1	2				11



準決勝、強豪春日部共栄戦。

春日部東の先攻。初回先頭の丹川がヒットで出塁、その後、共栄守備の乱れもあり、好調４番藤井のタイムリーで先制するも、中継プレーに追加点を阻まれ１点止まり。その裏に、先発１年の村山がボールが先行した後を狙われ３失点と逆転を許してしまう。２回にも連打を許し５点を追加されてしまう。ここで１年生エース松田を投入、なんとかしのぎながら２点を奪い、コールドは避けたかったが、さらに３点を追加され、３－１１で７回コールド負け。

強豪相手になかなかの粘りを見せるも、序盤の失点が大きく、こちらが大量点を奪うチャンスは訪れず、今後の課題が見えた結果となった。

春日部東			打数	安打	打点
1	9	丹川	4	1	1
2	6	沖崎	2		
3	4	高橋	4	1	
4	3	藤井	4	1	1
5	7	見ル野	4	1	
6	2	岡崎	3	1	
7	8	村上	4	1	
8	①	村山	1		
	1	松田	1		1
	1	菜原	-	-	-
9	5	関	2		

	回数	安	四	振	責
村山	1-2/3	7	3	1	8
松田	4	6	3	1	3
菜原	1/3	0	0	0	0

春日部東

秋季東部地区予選 地区代表決定戦

9月8日（日）牛島球場 VS 草加南

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
春日部東	1	0	1	0	2	0	2	4		10
草加南	0	0	0	0	0	0	0	1		1

勝てば秋季県大会出場となる東部地区代表決定戦は、
６校連合（吉川美南・八潮・三郷・松伏・越谷総合技術・三郷工業技術）に勝利した草加南高校との一戦。
2学期が始まったとは思えないほどの暑さの中、地元春日部牛島球場で行われた。

春日部東			打数	安打	打点
1	9-8	丹川	5	1	
2	6	沖崎	5	1	
3	4	藤丸	4	3	1
4	③	藤井	3	1	3
	PR・3	寺本	-	-	-
5	⑦	見ル野	5	1	
	7	曽根田	-	-	-
6	2	岡崎	5		1
7	8-1	村上	5	1	1
8	①	松田	3	1	3
	PH・9	田上	1		
9	5	関	4	1	

春日部東は初回に幸先よく先制すると、
5回の2番沖崎、3番藤丸の連続ツーベース、7回の8番松田の2点タイムリーヒット、8回の藤丸のタイムリースリーベース、
7番村上のタイムリーヒットなどで得点を重ねて10得点。
投げては先発の松田が7回をわずか1安打の好投で草加南打線を封じ、10対1（8回コールド）で秋季県大会出場を決めた。

	回数	安	四	振	責
松田	7	1	1	6	0
村上	1	2	0	1	0

春日部東

秋季埼玉県大会

9月19日（木）越谷市民球場　VS　山村国際

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
山村国際	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
春日部東	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

9月19日（木）秋季埼玉県大会が開幕。気温30度を超えるなか初戦は山村国際。
2年前の夏の埼玉大会での敗戦以来、2年ぶりの再戦。初回、一死満塁のピンチを迎えるが堅実な守りで
相手の攻撃を封じゼロで切るスタート。スコアが動いたのは3回表、2塁打・単打で先制の1点を許す。
両チーム幾度とスコアリングポジションにランナーをすすめるも集中力高い守備でロースコアのまま試合は中盤へ。
得点圏へランナーを進めるも一本が出ず。9回表には追加点を許しスコアは0-2。2点を追う9回、1死満塁。
ここ一番の場面に3番藤丸、スタンド最高潮の応援のなか鋭い快音を響かせ打球はライト前へ。3塁ランナー関が
ホームイン、2塁ランナー丹川も快足で3塁を跳ね駆けるもホームタッチアウト。1－2であと一歩及ばず試合終了。
今夏からの新チームによる公式試合はこれで終了となったが、互いに張り合う拮抗した試合をどう勝ち切るか
来春に向けた課題が見えた一戦となった。

春日部東			打数	安打	打点
1	9	丹川	4	1	
2	6	沖崎	4	2	
3	4	藤丸	2	1	1
4	③	藤井	3	1	
	3	寺本	-	-	-
5	7	見ル野	4		
6	8	村上	4	1	
7	2	岡崎	4		
8	①	松田			
	1	栗原	2		
	1	村山	-	-	-
	PH	樋口	1		
9	5	関	2	1	

	回数	安	四	振	責
松田	3-1/3	6	1	0	1
栗原	4-1/3	6	0	0	1
村山	1/3	0	0	0	0

戸井永副部長　ご挨拶

この度、硬式野球部の顧問を務めることになりました戸井永です。
野球部の皆さんが目標に向かって挑戦し、成長できるよう、日々サポートしてまいります。仲間と切磋琢磨しながら、技術の向上だけでなく、人間としての成長も共に目指していきましょう。
保護者の皆様、関係者の皆様におかれましても、どうぞご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

第47期 沖崎会長　ご挨拶

過日行われました令和7年度、埼玉県立春日部東高等学校野球部保護者会定期総会におきまして、曽利会長の後任として、僭越ながら会長に就任致しました沖崎と申します。伝統ある春日部東高校野球部保護者会会長という大役を任されましたことは、非常に光栄であり、身の引き締まる思いです。会長として、不慣れで行き届かないところがあろうかと思いますが、野球部の更なる発展を目指し、歴代会長の熱意を引き継ぎながら精一杯務めさせて頂きますので、何卒よろしくお願いいたします。
高校生という一番輝いている時を、悔いなく充実して送れるよう、学校関係者様並びに野球部指導者様との緊密な連携を図り、部員が野球に専念できる環境作りができればと考えております。
また、野球部指導者の相互理解をより一層深め、野球部の発展に尽力する所存でございますので、今後も引き続き、野球部への温かいご声援と保護者会に対するご指導・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

先輩方からバトンを受け取り、広報新チームもスタートしました。
微力では御座いますがチームのために力を合わせ頑張って参ります。

広報メンバー／沖崎・近藤・林
井出・押田・大関・狩野・桒原・佐藤・杉本・松田・村上

ベースボール通信　第４号
令和6年11月23日　　発行
保護者会　広報担当　作成・発行